



ひかりのこつうしん No.11

2024/3/14

ひかりの子幼稚園

冬の間、活動を停止していたパンジーの蕾が一斉に膨らみ、小さな可愛い花が咲きはじめ、春がもうそこまで来ています。

卒園、進級も目前となってきました。子どもたちは「あと何日、何日」と残りの日々を数えながら、お部屋でも園庭でも夢中になって遊んでいます。

年長組のクラスから「♪さよなら僕たちの幼稚園、僕たちの遊んだ庭、桜の花びら降る頃はランドセルの1年生♪」の歌が聞こえてくると、目頭が熱くなることも…。卒園や進級前のお別れの時期は、子どもたちにとっても、教職員にとっても寂しい季節です。

ひかりの子幼稚園では、子どもの興味・関心を繋いでいく保育を大切にしてきました。その活動を進めるための話し合いでは思わぬ展開があり、私たちには思いもつかない子ども達の発想の豊かさや、柔軟さにびっくりしたり、感動させられることもしばしばありました。

卒園や進級をしても、今までの楽しかったこと、悲しかったこと、様々な幼稚園での経験で培ったかけがえのないものを、「明日へ、未来へと」繋げて行ってほしいと願わずにはられません。

けんかをしたり、涙を流したり、話し合ったり、仲直りした中で、出会った友達の存在や繋がりが、大好きなたくさんの先生との繋がりが、何よりお父さんやお母さん、家族のみんなとの繋がりをより一層深めてほしいとも思います。そして見えないけれど、いつもみんなのそばにいて下さる、イエス様のことも忘れないでいてください。

それぞれが一人で生きているのではなく、たくさんの繋がりによって生かされていることがわかり、助け合い、認め合い、慰め合い、励まし合い、自信と喜びをもって、これからの人生をしっかりと歩んでいける様に、みんなの幸せを心から祈っています。

かわいいね♡お部屋によろこそ！

園長 松本 直子



2月号でお知らせしましたように森のインコが亡くなりました。その後「幼稚園で動物を飼いたい」と願ったクラスがありました。話し合いを重ねていくと、子ども達の夢はどんどん膨らみ「犬」「猫」「うさぎ」「モルモット」・・・たくさんの意見が出ました。**買う**ことは簡単だけど、**飼う**ことには責任が伴うこと。誰がどんなふうについてお世話をするのか？「命」のことを時間をかけて話し合い、ようやく2羽のインコを迎え入れることが出来ました。今はお部屋でお世話をしていますが、進級した後のお世話の話し合いが続いています。